

【発行】

島根県立三刀屋高等学校

〒690-2404

雲南市三刀屋町三刀屋 912-2

TEL：0854-45-2721

FAX：0854-45-5630

第143号

令和6年

7月8日発行



蒼雲

『此中有大器』の次の100年へ

校長 本間 達也

本校は、今から100年前の1924年（大正13年）の4月17日、現在も三刀屋高校の校舎がそびえる雲南の高台「三刀屋が丘」に県内5番目の旧制中学校として55名の入学生を迎え開校しました。本校開校により雲南地域から上級学校進学への道が拓かれ、進路選択の可能性が大きく広がるとともに、雲南地域の発展に大きく寄与することとなりました。目を閉じて、開校初年度の入学生55名の方々の希望とやる気に満ち溢れた熱い「110の瞳」に思いを馳せたいと思います。

そして今年度、2024年（令和6年）4月17日には島根県知事・丸山達也様、島根県議会副議長山根成二様、雲南市長石飛厚志様をはじめ多数のご来賓の皆様にご臨席を仰ぎ、開校100周年記念式典を盛大に挙行できました。改めまして心より御礼を申し上げます。また、これまで本校の教育を推進し、その発展に多大な貢献をなされた皆様に対し、深い敬意と感謝の念を捧げたいと思います。

開校100周年記念式典に向け、これまで編纂された周年史を拝読し、100周年という歴史の重みを痛感しています。特に『五十年史』には、1872年（明治5年）の「学制」頒布以来の本校を取り巻く歴史が、明治・大正・昭和という3つの時代を通して歴史教科書のごとく詳述してあり、歴史的価値の高いものとなっています。その中に、島根県出身の若槻礼次郎元内閣総理大臣が1930年（昭和5年）に本校を訪れたとの記述があります。若槻は、本校来訪年の1月にイギリス・ロンドンで開催された海軍軍縮会議に首席全権として参加し、4月にはロンドン海軍軍縮

条約批准という大役を果たしています。同年10月に郷土島根へ凱旋した若槻は、郷土歴訪の途中に本校を訪ねたと『五十年史』に記述されています。

若槻は、1866年（慶応2年）に松江市内部に位置する雑賀町に貧しい足軽の次男として生まれました。当時、足軽の家庭に生まれた子どもたちは藩の学校に入ることができなかったため、若槻はお寺や私塾に通うなどして勉学に励み、大蔵官僚から政界へ進出し内閣総理大臣にまで上り詰めました。本校を訪問した際、若槻は開校間もない本校で目を輝かせて勉学に励んでいる生徒の姿に、かつての自身を重ね合わせていたかもしれませぬ。

若槻は何度か帰県していますが、1935年（昭和10年）4月に母校の雑賀小学校・雑賀幼稚園を訪れた際「此中有大器」（このなかにたいきあり）を揮毫しています。「大器晩成」という四字熟語でもおなじみの「大器」とは「人並はずれてすぐれた才能・器量。また、その備わった人物。大人物。」という意味です。この書は、現在雑賀幼稚園に掲げられています。この書は、現在雑賀幼稚園に掲げられていますが、幼稚園に掲げるところに、教育的に大きな意味があると思っっています。すなわち、全ての子どもたちには無限の可能性が秘められていると。この5文字は「その可能性を見出し、大きく育てていくことが教育に携わる者の使命ではないか」そう問いかけている気がします。

開校100周年を迎えた今年、「次の100年」へ向けた第一歩として探究学習の進化・深化を通して、全ての生徒の可能性を後押ししていきたいと考えています。本校は

今年度、文部科学省が行う「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」、「総合的な探究の時間」の質向上を図るための実践研究」という2つの事業の指定校となりました。この2つの事業を有効に活用し、生徒の皆さんが、より進んだ深い学びを実現できるように探究学習の充実に努めていきたいと考えています。

「三刀屋が丘」が「学びの丘」となり、地域を支える人材の輩出に貢献できるよう教育活動を進めてまいります。今後とも三刀屋高校の教育活動に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」
・高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化

・情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校などに対して、取組に必要な環境整備の経費を支援

※「総合的な探究の時間」の質向上を図るための実践研究

・日本社会が抱える現代的な諸課題に関する課題を設定し、探究活動に取り組み実践研究
・「総合的な探究の時間」の質向上に取り組むことで、高校生の主体的に社会の形成に参画する意欲・態度の育成



「此中有大器」
若槻礼次郎書
(昭和10年4月2日揮毫、
雑賀幼稚園蔵)



若槻礼次郎元首相来校記念写真
(昭和5年10月5日撮影)
*前列左から5人目が若槻元首相
後列左から2人目が馬場二代校長

令和6年度 入学式



4月9日(火)「令和6年度第77回入学式」を挙行し、154名の新入生を迎えました。

入学許可の後、校長から「向き合う。その先に…」Face it. Beyond that…」と三高(三刀屋高校)の合言葉が贈られ、これまでの自分を認めながら、これから先も人、もの、こと、ときには自分自身と向き合うことで、その先にある世界を知り自らの可能性を切り拓いていってほしい。また、自分を表現する方法を見つけ、それぞれのチャレンジの先で一人ひとりの中にある可能性の芽を大きく育てていってほしい。などの話がありました。その後、新入生代表の宣誓では、新しい生活に不安を抱きながらも、三刀屋高校生として新しい仲間と勉強や部活動に励み、互いに高めあっていきたいという決意が述べられました。

入退場や校歌では、吹奏楽部の演奏も行われ、華やかな式となりました。また、多くの来賓や保護者、在校生の同席により、緊張感の中にも新入生を温かく歓迎する雰囲気のある入学式となりました。



フレッシュャーズセミナー

三刀屋高校では、総合学科高校の原則履修科目である「産業社会と人間」を1年次に履修しています。4月25日(木)には、「フレッシュャーズセミナー」を実施しました。

今年度の「フレッシュャーズセミナー」は二部構成とし、まず午前の部で、一人一台端末を配付して、その利用に関する研修を行いました。この端末(Chromebook)は、3年間、授業や探究活動等で使用するもので、まずは立ち上げから基本操作の確認、主として使用するGoogle Workspaceの活用などに取り組みました。Google Workspaceの活用については、実際にスライドを作成し、それを用いて互いに自己紹介をしました。その後、メディアリテラシーに関する講話を聴き、端末の適切な使用について理解を深めました。この端末は教育用のもので、ゲームなどの不適切な使用はしないこと、毎日持ち帰って学習に活用するとともにきちんと充電して帰ることなど、守るべきルールがあります。ご家庭でもご注意ください。

午後の部は、「マナー講座」として、社会に出るにあたっての心構えや、人と接する際の表情や態度、言葉遣いなど、さまざまなお話や演習を交えた講座を受講しました。三刀屋高校では、1年から2年にかけて、「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」において、校外の人にお話を伺ったり、ご協力いただいたりして学びを深める機会が目白押しとなっています。そういった機会に失礼のないよう、今回のマナー講座で得た知識を活用してほしいと思います。

「産業社会と人間」では、このほかにも多様な講座を計画しており、生徒が自分自身の将来について考える機会がたくさん設けられています。これらの機会を通じ、生徒ひとりひとりが確かな知識を得るとともに自己の考えを深めて、充実した学習と探究活動を実践していってくださることを願っています。



端末の活用(自己紹介)



マナー講座

100th
Anniversary

開校一〇〇周年記念式典を終えて

開校一〇〇周年記念事業推進委員会
実行委員会事務局

稲村 隆

『校歌斉唱』、生徒たちをはじめ、出席者全員が大きな声で歌っている。この歌声を聞いて式典が成功に終わって良かったと思えました。

開校記念日の4月17日午前10時、三刀屋文化体育館アスパルを会場に記念式典が始まりました。この日、この時刻は一〇〇年前に第一回入学式が挙行された日になります。

進行は、普通科第三十九期卒業生の木野村尚子さん。丸山達也島根県知事を始めとする来賓をお迎えして、厳粛にかつ盛大に執り行うことができました。記念式典の目玉の一つが、創立功労者顕彰でした。創立には地元の多くの方々の努力があったと聞いています。中でも藤原薫氏、松尾清三郎氏、二十一代田部長右衛門氏の三名の献身的な功績は大きく、式典での会長挨拶の中でも触れられました。

私は、今回、過去の周年記念誌をすべて読み返し、三刀屋という山間地に旧制中学校を設立するために地元の方々は団結し、運動されたことを知ることができました。



開校記念に当たり、母校の歴史を振り返れたことに感謝したいと思います。

今回は、講演ではなく公演を行いました。以前三刀屋高校に勤務し、現在も本校の演劇部の指導をしていただいてる亀尾教諭の脚本・演出による『永井隆物語』を上演しました。三刀屋の地に深いか

かわりのある永井隆博士の心情を現した物語であり、戦争について、そして原爆について考える物語です。亀尾教諭には快く引き受けてくださったこと、大変感謝しています。実は、亀尾教諭が三刀屋に勤務されているとき、私も勤務しており、担任と副担任という関係もあり、何かの縁を感じました。また、この公演の進行は、生徒会役員のみなさんをお願いすることにしました。これもまた快く引き受けてくれ、リハーサルから本番と、生徒一人一人が活躍してくれました。その場その場で臨機応変に動いてくれ、一〇〇周年記念公演として相応しいものになりました。

前々日準備から当日と生徒のみなさん、教職員のみなさん、地域のみなさんの力を借りて開催することができ、感謝しています。

三刀屋高校は、ここからまた、新たな歴史の一ページを記し始めました。地域とともに、これからも三刀屋高校が発展していくよう願っています。

最後に、紹介があったと思いますが、生徒のみなさんの記念品は『二刀流』ならぬ『三刀流』ということ。3ウェイボールペンとしました。わかっているかな？



新入生歓迎コンサート ランチタイムパフォーマンス



県総体結果

男女総合 Aグループ22位

部活名	日程	会場	結果
陸上競技部	5/24(金)~5/26(日)	浜山公園陸上競技場(出雲)	男子5000m W 第3位 藤田(3年)
男子バスケットボール部	5/24(金)、5/25(土)	県立浜山体育館(カミアリーナ)(出雲)	1回戦 58-65 開星
女子バスケットボール部	5/24(金)、5/25(土)	県立浜山体育館(カミアリーナ)(出雲)	1回戦 52-74 立正大淞南
柔道部	5/24(金)、5/25(土)	県立石見武道館(浜田)	【個人戦】1名出場 初戦敗退
サッカー部	5/24(金)	松江市営陸上競技場(松江)	1回戦 0-4 明誠
男子ソフトテニス部	5/30(木)~6/1(土)	浜山公園テニスコート(出雲)	【個人戦】8ペア出場 全ペア1・2回戦敗退 【団体戦】1回戦：三刀屋 0-3 松江商業
女子ソフトテニス部	5/30(木)~6/1(土)	浜山公園テニスコート(出雲)	【個人戦】3ペア出場 家原(3年)・難波(3年)ペア ベスト32 【団体戦】1回戦：三刀屋 3-0 島根中央 2回戦：三刀屋 0-3 出雲北陵
男子ソフトボール部	6/1(土)	安来高等学校グラウンド(安来)	決勝戦 三刀屋 4-3 安来 優勝(インターハイ出場)
女子ソフトボール部	5/31(金)~6/1(土)	安来高等学校グラウンド(安来)	2回戦 三刀屋 9-2 松江商業・江津(5回コールド) 決勝戦 三刀屋 7-0 出雲(5回コールド) 優勝(インターハイ出場)
女子バレーボール部	5/30(木)~6/1(土)	県立体育館(浜田)	1回戦 三刀屋 2-0 松江高専 2回戦 三刀屋 0-2 安来
卓球部	5/30(木)~6/1(土)	出雲市総合体育館(出雲だんだんトマトアリーナ)(出雲)	【男子個人戦ダブルス】3ペア出場 2・3回戦敗退 【男子個人戦シングルス】7名出場 1~3回戦敗退 【女子個人戦シングルス】1名出場 2回戦敗退 【男子団体戦】1回戦 三刀屋 1-3 松江西
剣道部	5/31(金)~6/1(土)	益田市民体育館(益田)	【団体戦】男子 2回戦 ○三刀屋- 浜田 3勝1敗2分 準々決勝 三刀屋-○松江東 0勝4敗1分 女子 1回戦 ○三刀屋- 飯南 3勝2分 準々決勝 三刀屋-○大社 0勝4敗1分 【個人戦】男子 ベスト32 難波(2年) 女子 ベスト16 白築(1年) ベスト32 谷山、名原(2年)



インターハイ 出場おめでとう!!

女子ソフトボール部

内藤 紗和



私たち女子ソフトボール部は安来高等学校で行われた県総体で優勝し、7月21日~25日にかけて長崎県大村市で行われるインターハイに出場します。

去年の県総体では1点差で惜しくも敗れるという結果でした。試合やチームの課題を解決するためにミーティングをし、部員同士のコミュニケーションをとることで改善へ向けた濃い練習をすることを大切にしてきました。そして今回の県総体では三刀屋の明るさや勝負強さを発揮し、点差をつけて勝利することができました。

インターハイでは私たちの力を発揮し、負けん気と勝利への執念を持ち、一投一打に全力を注ぎます。最後まで諦めず、チーム一丸となり悔いのない試合をします。一生懸命頑張るので応援よろしくお願います。

男子ソフトボール部

石飛 陽帆



私たち男子ソフトボール部は、6月1日に県総体で安来高校に勝利して優勝し、7月27日~31日にかけて長崎県大村市で行われるインターハイに出場します。

インターハイに向けては守備力、状況に応じたバツティングを強化し、チャンスでの得点力、安定した守備を大切にしながら練習します。島根県代表であるということに向き合い、一球一球全力でプレーすることを志します。その先にソフトボールを楽しむことを忘れず、目標のインターハイベスト8を達成することを目指し頑張ります。